

(HP公開用資料)

令和3年度福島地方最低賃金審議会
第3回福島県自動車小売業最低賃金専門部会

令和3年10月25日(月)
午前10時00分～
福島合同庁舎3階共用会議室
4階会議室(労側控室)
1階会議室(使側控室)

次 第

- 1 開 会
- 2 議 事
 - (1) 金額審議
 - (2) その他
- 3 閉 会

TOPICS 01 第204回通常国会 はまぐち誠 活動報告 ~「生活者」「納税者」「消費者」「働く者」の立場に立ち、政府へ質問・提案~

今国会 はまぐち誠 は23回の質問を行いました(5/7時点) ●本会議:2回 ●予算委員会:5回 ●決算委員会:1回 ●国土交通委員会:8回 ●災害対策特別委員会:2回 ●情報監視審査会:5回

新型コロナウイルス対策

事業規模に応じた給付金の支給を!

浜口 ● 国民の折れそうな気持ちを支え、コロナに前向きに立ち向かう力を高めるため、追加の支援、経済対策をすべき

● 国民民主党は時短要請に応じた事業者に対し、事業規模別に支援する法案を提出している

西村経済再生担当大臣 ● (事業規模別支援について)各府県とも1日4万円を基本とし、大阪市だけが独自の上乗せをやっている(月額換算最大210万円)

● 課外国の制度等も研究しながら、検討を怠っていない

浜口 やるべきことは先手先手でやっていく、この姿勢がないと国民は安心できない。早く制度の具体化を図ることを強く求める

雇用保険特別会計に一般財源を投入すべき!

浜口 雇用保険特別会計の積立金が一気に減ってきている。思い切って一般財源を投入してほしい

菅総理大臣 現時点において車に財源が枯渇する状況にはないし認識している。雇用情勢に応じて必要な対策を講じる

浜口 企業で働いている皆さんも、ぎりぎりの厳しい状況に置かれている。雇用保険料を上げて財源を立て直すということにはほならないようにしてほしい



速やかなワクチン接種体制の整備を!

浜口 在外邦人が一時帰国された時の接種体制について、住民票のある場合とない場合でそれぞれどのように対応するのか?

田村厚生労働大臣 国内に住民票を持つ在外邦人であれば、一時帰国時に各自自治体で打つことができる。一方、住民票がない方への方法は確立しておらず、これから検討を進める

浜口 住民票がなくとも、接種を希望する一時帰国者には速やかに接種できる体制を整えるべき

⇒後日、政府は一時帰国者に対し、空港(成田、羽田)やその周辺施設でのワクチン接種を行う方針を発表(想定人数は約20万人、夏頃の接種開始を念頭に調整中)

自動車整備士不足対策

浜口 ● 自動車整備士を担う若者が減少、軽減される方も多く、整備士不足は深刻な課題

● 漸進理由の上位に給料が安いことが挙げられている。この実態を政府もしっかりと捉え、今後の対策を考えてほしい

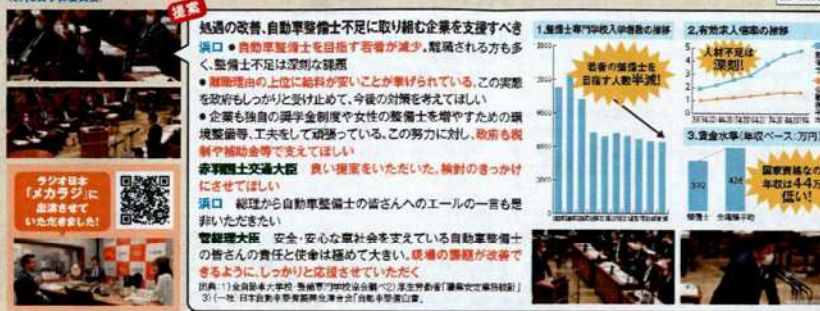
● 企業も独自の奨学金制度や女性の整備士を増やすための環境整備等、工夫を凝らして頑張っている。この努力に対し、政府も税制や補助金等で支えてほしい

赤羽国土交通大臣 若い層をいいたたい。給料の引き上げにさせてほしい

浜口 総理から自動車整備士の皆さんへのエールの一言も是非いただきたい

菅総理大臣 安全、安心な車社会を支えている自動車整備士の皆さんの責任と使命は極めて大きい。現場の課題が改善できるような、しっかりと応援させていただく

注: 1) 自動車大学校、自動車専門学校(自動車) 2) 学生数(自動車) 3) 1社1社、日本自動車整備協会、自動車整備協会



2050年カーボンニュートラルに向けた取り組み

浜口 ● 部品企業へのきめ細やかな支援が必要

浜口 ● 化石燃料等に関わる産業の縮小に伴う雇用への影響やコミュニティの衰退に対する支援など、移行期の負のインパクトを最小化し、公正な移行、を図る対策が重要

小泉 環境大臣 ● 労働者の職業訓練、企業の事業転換や多角化の支援、新規企業の創設、労働者の再就職支援等を推進していくことが重要とされている。関係省庁と連携し、公正な移行に全力を尽くす

浜口 ● 2035年の電動車シフトにあたり、エンジン関係の部品企業で働く方々から将来への不安の声が聞いている。電動車部品への事業転換や成長分野へのチャレンジに対し、国としてきめ細かく支援していくことが重要

菅総理大臣 ● 高い技術力を持つ企業が電動車のエンジンにも見えるモーターの製造に転換していく取り組みに対し、国として1兆円を超える規模の補助金を実施している。雇用や競争力を維持しつつ、幅広い部品産業も含め、自動車産業全体の成長を確保していきたい

電動車の普及に向けた環境整備を進めるべき

浜口 ● 現在、環境省では、再生可能エネルギーと電動車を同時導入した際の補助金事業を行っている。脱炭素には極めて有効な事業なので、継続し、かつ拡充していくことが重要だと考えている

小泉 環境大臣 ● 補助金額が40万円から80万円に増額された。多くの自治体や国民に活用してもらいたい。継続的に予算が打つように努力してほしい

浜口 ● 現在、全国で電気自動車の急速充電器は約7,900基、水素ステーションは137カ所しかなく、電動車シフトには遅延し、今後のインフラ整備の推進が重要

神山 経済産業大臣 ● 急速充電器の整備を促進するための補助事業を来年度予算に盛り込んだ。また、水素ステーションは2025年に320カ所の設置を目標に、取り組みを進めている

学校教育に「環境」科目を新設すべき

浜口 ● 気候変動対策を進めるには、国民の理解や協力が不可欠

● 温暖化防止のためにどのような取り組みが必要なのか、幼い頃から自ら考える基礎となる教育が重要と考える。そのため、学校教育に「環境」という科目を作ることを提案したい

藤生 文部科学大臣 ● 授業時間枠の問題や教員の指導の在り方等、課題は多いにわたり総合的な検討が必要。まずは、現行の学習指導要領に基づく環境教育の基盤的な実施を図ってほしい

TOPICS 02 政策制度実現への取り組み ~皆さんの「声」はまぐち誠が国会に届けます~

【コロナ禍を支えるトラックドライバーに温かい食事の提供を!】

国会議員の声 緊急事態宣言に伴う飲食店の時短要請により、高速道路のSA・PAのレストラン等も閉店。コンビニも弁当や食べ物の売り切れが続出し、トラックドライバーが食事を取れない、何かでかきたくないか?

はまぐち誠の対応 国土交通省へ改善を要請

結果 20時以降も営業するキッチンカー(テイクアウトのみ)の設置や、弁当や軽食類の販売強化が決定

さらには! 国土交通委員会で質問(4月6日) トラックドライバーはコロナ後の国民生活を支える。エコセリングカーやハイブリッドトラック等はドライバーにとって社会貢献のようなもの。理解促進にはしない、肉体的な負担を減らしてほしい(会社の社員食堂は時短の適用外、夜中でも利用可能)

国土交通省の答弁 サービスの更なる充実を高速道路会社に要請してほしい

名古屋高速道路の料金改定(6月1日)は見直すべき!

支那の東 高速道路は「全国」の国民の共有財産。より利用しやすい環境を整え、サービス向上の促進をすべきと。料金を値上げするなんてもってのほか!

はまぐち誠の対応 国土交通委員会に質問(3月16日)

国土交通大臣の答弁 理解促進が基本。全員がETCを導入できる環境を整えることが基本。一方で、コロナの今の状況にどうなるのかの判断も多岐にわたる。業務的に検討しなければならないと思う

結果 名古屋高速について、利用4割につき、1割増料に対するアンケート(クーポン)の回答が決定 (対象は現金利用車。期限は5月1日~7月31日までの予定)

ナンバープレート封印手続きの煩雑さは改善すべき!

封印とは...自動車には、自動車登録番号と車体番号が同一であることを確認の上、国または県の業務委託を受けた者(自動車販売会社等)が後述のナンバープレートに封印を取り付けなければならないこととされている(道路運送車両法)

販売会社組合員の声 申請書類が煩雑な等により、提出書類が多過ぎる等。受付手続きが煩雑で困っている。改善できないか?

はまぐち誠の対応 国土交通省へ改善を要請

さらには! 国土交通委員会に質問(4月6日) 書類の簡素化-統一化を求める意見が大変多い。シンプルかつ全国統一の対応をすぐにでもお願いしたい

国土交通自動車局長の答弁 申請に係る負担を軽減できるように。本年度的には申請書類の簡素化、全国統一化を実施したい

皆さんの「声」が私の活動の原動力! 今後も制度改善に粘り強く取り組んでいきますので、ご意見・ご要望をじゃじゃんお寄せ下さい!!

TOPICS 03 第7回 はまぐち みんなの まどぐち

はまぐち誠が、歩いて聴いてきた、仲間の皆さんの疑問や要望に、お応えするコーナー

児童手当の現行制度と政府の改正案(2021年5月21日成立)



⇒児童手当削減分(約370億円)を待機児童対策に活用する方針
⇒本改正に伴うシステム改修費は289億円(令和3年度予算計上)

一方、毎年度、会計検査院は政府支出の巨額のムダを指摘。

(子育て支援を所管する厚生労働省分だけでも約287億円(年度平均))



⇒子育て支援の予算は、政府全体でムダな支出をなくすことで捻出すべきです!

TOPICS 04 はまぐち誠 週刊レポート (2020年9月6日~ ※毎週末配信)

~直近のホットニュース、はまぐち誠が短編動画(約2分)でわかりやすく解説します~

1 年金等の改正案、自動車等の増税案	9 日経新聞議員推薦発表	22 新型コロナワクチン
2 今後のコロナ対策	10 自衛隊員増強の課題	23 2050年カーボンニュートラル
3 労働安全衛生	11 高齢者就業支援	24 男女共同参画社会
4 子供の成長、電子学習化、自動車免許制度の課題	12 被災地支援のための危機管理	25 高齢者就業支援の促進
5 自動車整備士不足対策、高齢者運転の課題	13 雇用調整助成金の延長、75歳以上の高齢者雇用	26 自動車整備士不足対策
6 コロナ後の雇用支援	14 在籍地別への雇用調整助成金の拡充	27 児童手当の見直し
7 エネルギー基本計画の見直し	15 児童手当の見直し	28 農業従事者増強策(在籍地別への拡充)
	16 解雇コトワケクシ	29 高品質の給付
	17 自動車事故防止の徹底	30 食料安全保障の確保
	18 異性の権利平等	31 国民生活2.0の推進
	19 国際標準化、規格統一(EV/充電規格)	32 選挙制度改革
	20 選挙区画の公平化、投票率向上策の検討	33 介護保険の持続可能性の確保
	21 令和2年度第3次補正予算の概要	34 自動車向けカーボンニュートラル
		35 農業従事者増強策

TOPICS 05 「自動車産業の未来を考える会」

議員立法 自動車産業の脱炭素化推進法(仮称)を協議中

衆・参両院で計30名の議員が参加(2021年5月現在)

会長・古本伸一郎 衆議員
幹事長・浦崎哲史 参議員
事務局長・はまぐち誠

これまで15回の総会、複数回の立法作業チーム会合を実施



【法案のポイント】

自動車におけるカーボンニュートラル(CN)を実現するための課題を明確化

- ① 自動車産業のCNを総合的かつ一体的に推進し、自動車産業の国際競争力の強化を図る
- ② 2050年CNの実現には、火力発電が約8割を占める日本の発電分野の脱炭素化は必須。また、輸送分野だけではなく、関連するすべての分野でCNに取り組むことが重要
- ③ 自動車CNに向けては、電動車(HV、PHV、EV、FCV)や合成燃料(e-fuel)、水素等、あらゆる選択肢を考慮すべき
- ④ 自動車の高CN実現に向けては、原材料の採取、生産(部品、車両、燃料)、走行、廃車、リサイクルまでの自動車のライフサイクル全体で排出されるCO2を把握、検証(ライフサイクルアセスメント=LCA)していくことが重要
- ⑤ CN推進に向け「自動車ユーザーの負担軽減」「電動車の技術開発、普及支援」「雇用確保等の公正な移行」「CNに資するまちづくり」等にも取り組む

はまぐち誠 写真で綴る直近の活動報告



政策がある

国民民主党 政策実現委員会

私たちの政策、実現しました

はまぐち誠 写真で綴る直近の活動報告

ご視察はこちらから

はまぐち誠の投稿 (2021年4月7日現在)

国会(参議院)

- 国土交通委員会
- 災害対策特別委員会
- 予算委員会
- 菅義偉政策委員会

党外(国民民主党)

- 会長 田村富久
- 委員 衆知博

はまぐち誠 何でも相談BOX

TEL.03-6550-1022 FAX.03-6551-1022

Mail. info@hamaguchimokoto.com

参議院議員 はまぐち誠手帖 2021.06 Vol.021

活動レポート はまぐち誠手帖 発行 | 国民民主党参議院比例区第18回支部



誰一人取り残さない社会へ

いつもご支援いただき、誠にありがとうございます。

コロナ禍は、弱い立場の皆さんに深刻な影響を与えています。こうした時、政治は「誰一人取り残さない社会」の実現に向け、あらゆる政策を行うべきです。今後も、力になれるように参ります。参議院議員 浜口誠

Facebook 「はまぐち誠」で検索

Twitter 「はまぐち誠」ツイッター

LINE

SNSもぜひチェックしてください

はまぐち活動報告 ~「生活者」「納税者」「消費者」「働く者」の立場に立ち、政府へ質問・提案~

●本会議:2回 ●予算委員会:5回 ●決算委員会:1回 ●国土交通委員会:8回 ●災害対策特別委員会:2回 ●情報監視審査会:5回



自動車整備士不足対策

(3月8日予算委員会)

力を高める
する法案を
1日4万円を
(10万円)



提案

処遇の改善、自動車整備士不足に取り組む企業を支援すべき
浜口 ●自動車整備士を目指す若者が減少、離職される方も多く、整備士不足は深刻な課題

●離職理由の上位に給料が安いことが挙げられている。この実態を政府もしっかりと受け止めて、今後の対策を考えてほしい
●企業も独自の奨学金制度や女性の整備士を増やすための環境整備等、工夫をして頑張っている。この努力に対し、政府も税制や補助金等で支えてほしい

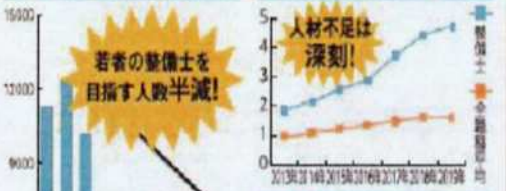
赤羽国土交通大臣 良い提案をいただいた。検討のきっかけにさせてほしい

浜口 総理から自動車整備士の皆さんへのエールの一言も是非いただきたい

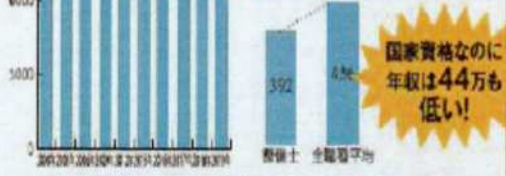
菅総理大臣 安全・安心な車社会を支えている自動車整備士の皆さんの責任と使命は極めて大きい。現場の課題が改善できるように、しっかりと応援させていただく

出典: 1) 全自動車大学校・整備専門学校協会調べ②) 厚生労働省「職業安定業務統計」 3) (一社)日本自動車整備奨励会連合会「自動車整備白書」

1.整備士専門学校入学者数の推移 2.有効求人倍率の推移



3.賃金水準(年収ベース:万円)



自動車整備士の給料平均は27万円

自動車整備士の平均給料

年収	391万1000円
月収	26万9724円

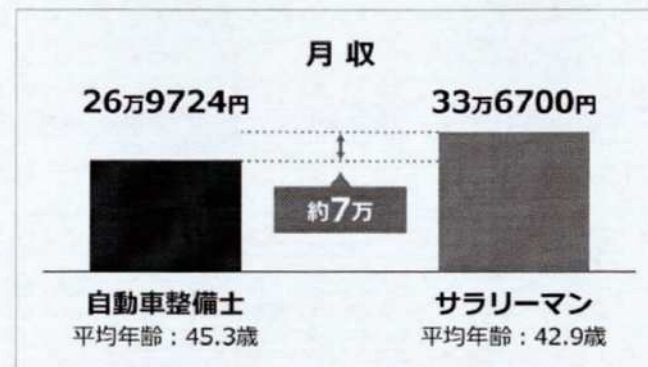
※1.平均年齢45.3歳

※2.年間のボーナスを月収の2.5ヶ月分として月収を算出

日本自動車整備振興会連合会の『平成30年度版 自動車整備士白書』をもとに作成。

日本自動車整備振興会連合会の『平成30年度版 自動車整備白書』によると、全国の自動車整備士の平均年収は391万1000円でした。ボーナスが2.5カ月分だとすると、月収は26万9724円。ここから社会保険料や税金などが引かれるので、手取りは21万円ほどになります。

自動車整備士とサラリーマンの給料平均



日本自動車整備振興会連合会の『平成30年度版 自動車整備士白書』と厚生労働省『平成30年賃金構造基本統計調査』をもとに作成。

サラリーマンの給料平均と比べてみると、やはり自動車整備士の給料は低め。年収では100万円以上、月収では7万円ほど低くなっています。